

S S T L

NO. 55

職場参加ニュース



うんとかしよ、花田苑散策

- 定期総会&シンポジウム報告・・・2~3p
- うんとかしよ・介護人養成講座「花田苑」・・・4p (表紙写真)
- 新事業に向けて&会費納入者・・・5p
- 職場・地域ひろがりつうしん・・・6p
- 予定・お知らせ・・・7p
- 世一緒スタッフ日記・・・8p



共に生きる介護づくりから
共に働く街づくりへ

事業準備中

定期総会と記念シンポジウム

共に生きる介護づくりから共に働く街づくり



パネリスト・飯島 信吾さん(仕事おこし懇談会)、小川 秀一さん(就労継続B型ひよせ職員)、岡田 英夫さん(合同会社ローカルアクセス)、清水 泰代さん(生活クラブ生活協同組合越谷地域協議会)、日吉 孝子(NPO法人障害者の職場参加をすすめる会)
コメンテーター・堀 利和さん(共同連)、田中さん(越谷市障害福祉課)、伊藤 勲さん(NPO法人やまぼうし理事長)
コーディネーター・朝日 雅也さん(埼玉県立大学)



ワーカーズコープの就労継続支援B型事業所職員・小川さん
有機肥料・無農薬栽培による農作業:借地面積約2000㎡
その他 室内作業、室外作業、施設外就労、農産物販売



合同会社ローカル・アクセス代表の岡田さん。

「助ける、かわいそうという視点ではなく、一緒に社会を支える視点で」



インターネット事業団・飯島さん。
地域の状況を踏まえ「共に働く」上での課題 :1)障害がある人もない人も「共に顔の見える関係づくり」の一環として、本NPO・運営委員会が打ち出した方向をさらに共に進めていきたい。2)「障害福祉サービス・就労移行支援事業」へのチャレンジの共鳴とネットワークの拡大



生活クラブ生協越谷ブロック・地域協議会の清水さん。

「地域協議会:市民ネットワーク(政治団体)、ワーカーズ・コレクティブ、エコロ助成団体、地域団体(元・自主活動グループ・連)との連携を図り、共通の課題解決に取り組む。地域の活動団体の参加呼びかけを検討…」

生活クラブの活動の拠点である越谷生活館を地域の有効な拠点となるようとの思いから職場参加をすすめる会と出会い、一緒に歩くことから始めようと『うんとこしょ』を開催することに。



日野・やまぼうしによる農ある街づくりの中で共に働く関係を切り拓いてきた経験を語る伊藤さん。津久井やまゆり園事件にふれたとき思いあふれて言葉をつまらせる。



参加者の声

今日は、NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会の総会 & シンポジウム！

いつも、スピーカーの皆さんがカメラに収まりきれない(笑) 今回は地域や東京から、総勢9名のパネリスト & コメンテーターさんが。ひとりひとりが熱く語るのも、豪華 & 濃厚な2時間半！障害者を支援する制度や専門家も大事だけど、何より地域での普段づきあい、顔の見える関係こそが大事。地域でごちゃまぜにかかわり合って、時に差別と向き合ったり、ぶつかったりしながらほどよい関係をつくっていきましょう。と様々な活動を通して地域を耕している皆さんのお話でした。

あー、有意義で濃厚な時間だった！ 山田裕子さん

今日は障害者の職場参加をすすめる会総会&シンポジウム

詰め込みすぎ(≧▽≦)とても充実していると言いたいのかと。この一年の充実した取り組みの紹介プラスゲストもたくさん。

伊藤勲さんが津久井やまゆり園事件について、思わず込み上げる場面が印象的でした。“稼げなければ価値がない”という価値観が日本全体を覆っているなら、やまゆり園事件は障害者だけの問題ではありません。ここに集うみなさんの取り組みはすごい価値があると思います。 延与早紀子さん

2017年度定期総会



6月25日、13:00より越谷市中央市民会館にて定期総会が行われた。

門間愛さん、原和久さんが議長に選任され、第1号議案2016年度の事業報告、第2号議案決算報告がされ、続いて監査報告がされ満場異議なく承認された。

第3号議案として、NPO促進法の改正に伴う貸借対照表の公告方法を定款に定める必要が出たこと。

また、2017年度の事業計画に関連して(5p参照)第5条事業の種類に⑦番として、「障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業」を加えたいことが事務局より説明され、正会員3/4以上の賛成をもって原案通り承認可決した。

次に第4号議案2017年度事業計画、第5号議案2017年度活動予算案が説明され、満場異議無く承認された。

最後に新しく運営委員として加わった、べしみの辻彩子さん、仕事おこし懇談会 in 越谷の佐藤春江さん、高齢者施設ケアマネージャーの阿久津和子さんが紹介され、閉会した。



うんとこしょ・介護人養成講座

うんとこしょー共に生きる介護人養成講座第3回「花田苑」生活クラブ生協越谷ブロックの関連活動団体が集まる地域協議会、ワーコレや他のNPOが集まる仕事おこし懇談会 in こしがや、障害者の地域生活を支える介助組織「ケアシステムわら細工」、そしてわがNPO 法人障害者の職場参加をすすめる会の共催。

ふりかえると40年前、バリアフリーとか合理的配慮といった概念自体なかった。ただ乗客なんだから、市民なんだからと、周りの人たちに声をかけ手伝ってもらって、市役所でも公



園でも、電車・バスでも、あたりまえにそこにいた。

今世紀、状況は一変した。多少ともバリアフリーになり、支援制度が拡充してきた。ただその半面で、バリアフリー化された環境設備のトリセツに従うこと、制度を利用する上で障害の状況が適合するか判定を受けることなど、取引条件をのむことが日常になっている。そして、バリアフリー化は日進月歩変化し、制度も変化し、何が現在のスタンダードなのか、わかりにくくなっている現在。

だからこそ、障害の程度種別とはかかわりなく、本人のそして関わる人々の、あたりまえにこの街で一緒に生きようという関係が、あらためて大事。それとともに、今日のように、互いに隔てられて暮らしている人々が素朴に出会う「介活」ともいうべき機会がとても大事だとあらためて思う。

今日やや驚いたのは、小型ノンステップバスが、中央のドアだけでなく、前のドアも広がっていて、そこから降りられたこと。そんな風に、ユニバーサルな技術も日々変化している。だが、それも含め、自由になってゆく環境が、人々をよりきめ細かに分けてゆく手段になるかもという危惧も抱く。

花田苑の砂利道を越えてゆくために貸し出されている介助用電動車椅子は、庭園の外周に行くよう条件づけられ、中心部の池の端や太鼓橋には行かないよう義務付けられている。

「支援」、「共生」が制度化されてゆく時こそ、今日のように素朴に一緒に遊んだり、共にいる体験が大きな意味をもつなあと実感。



新事業に向けて

かつて障害のある人々が人里離れた施設か家の奥で閉ざされた生活を強いられたり、中には「福祉奴隷工場」にも転じた徒弟的な工場で働かざるを得ない状況があった。が、その一方で重い障害のある人も含め、バリアと差別に満ちた地域の学校や職場で他の人々とせめぎあいながら生きていたことも見落とせない。ひるがえって現在、教育・福祉・雇用の支援施策の拡充によって、さまざまな障害のある人々が身近な地域の中で暮らし、働く時代になったが、その半面で障害のある人々には特別な支援が必要で、普通の人々が普通に関ったのでは差別にもなりかねないとの意識が広まった。その結果、いくら支援が増えても支援が足りなくなる状況が生まれている。また、学校、街、職場で一緒に生きることが往々にして「過重な負担」を強いることとして、予め回避される傾向も生じている。

こうした支援のジレンマをこえ、さまざまな障害のある人と他の人々が、また異なる障害のある人々が互いに出会い、一緒に街に出ることを進めるため、生活クラブ生協越谷地域協議会をはじめ4団体が、年間にわたり「うんとこしょー共に生きる街の介護人養成講座」を開催する。この講座に関することをひとつの契機にして、当会はこれまでの世一緒の活動や就労支援センター受託の経験を活かし、生協やワーカーズコレクティブをはじめとする市民団体及び福祉施設等との連携を活かした八百屋カフェ等の店づくり構想を具体化し、これを地域における就労・職場参加支援の事業として立ち上げる準備にとりかかる。

上記の事業準備を含め共に働く街づくりへ向けてさらなる連携・協働の課題を探る。

2017年度会費納入ありがとうございます。

青木 繁明	阿久津 康仁	朝日 雅也	伊藤 峰子	内野 かず子	延与 早紀子
大野 弘幸	大塚 眞盛	尾谷 英一	黄川田 仁志	小森 陽子	佐藤 春江
清水 泰代	鈴木 照和	高瀬 勇	竹迫 和子	田島玄太郎	谷崎 恵子
津崎 悦子	辻 浩司	友堅 由紀恵	中山 佐和子	西影 勲	長谷川 顕
原 和久	原田 真弓	日吉 孝子	水谷 淳子	森田 譲二	山崎 かおる
山崎 有子	山崎 泰子	山田 裕子	吉田久美子	吉原 広子	

ご寄附ありがとうございます。

寄付者一覧

川瀬 光子	直井 利雪	田島 玄太郎	土居 幸	小倉 恵子
水谷 淳子	沖山 稚子	イオン千間台店		

職場・地域ひろがり つうしん

Lunch Café どっこいしょ



毎月第3水曜は、仕事おこし懇談会 in こしがやの諸団体の協力によるLunch Café どっこいしょ。ワーカーズコレクティブ・キッチンとまとで調理したカレーに世一緒で淹れたコーヒー付で300円。今日は素揚げ夏野菜の彩りカレー。

ゲストは春日部で介護保険相談員を制度発足以来続け、高齢者施設を訪問してきた平野栄子さん。自宅で99才の実母と暮らし、その前にはやはり自宅で腹膜透析の実父と暮らして看取った。わらじの会の発足時か

らの会員でたくさんの障害者の地域生活ともつきあってきた。

おいご Cafe



6月28日(水)のゲストは、西陰勲さん。

西陰さんは、1970年代末に都立の養護学校(いまの特別支援学校)から地元足立区の小学校への転校を求めて長い運動をつづけた金井康治さん親子を応援した。都は車椅子の康治さんを受け入れる体制も設備もないと拒否し続けたのだが、当時ももっと重度の障害の子どもが地元の通常学級で共に学んでいた例はあちこちに存在した。



7月のトップを切って5日のゲストは耳鼻科医の水谷淳子さん。前に花粉症をテーマに話してもらい好評を得た。今日は「めまい」。

めまいと本人が表現する状態はさまざま。「自分自身や周りがグルグル回転する」、「自分自身が傾いた

1984年8月24日第三種郵便物承認
り、動いたりする」、「体のバランスが取れなくなり、立ってられなくなる」、「フラフラしてまっすぐ歩けない」……「こういうのもめまいなのか?」との質問があったが、本当のめまいと偽のめまいがあるわけではない。また、身体の中にだけ原因があるのではない。とめまいについて話していただいた。



7月12日のゲストは竹迫和子さん。

竹迫さんはどの子も地域の公立高校へ・埼玉連絡会の事務局を担い、季刊誌「福祉労働」に全国での障害のある生徒の高校進学の見込みの情報を執筆しているのも彼女。長年特別支援学校の教員として働き、早期退職した後、地域の活動に専念する傍ら時々郷里鹿児島で一人暮らしをする母を訪ねる。

ふらりと立ち寄り

午後、除草作業に出ずに折り紙をやっている熊谷君は、この春サポート校を卒業したばかり。ヘルパー資格を生かして高齢者デイサービスで世話をする仕事がしたいという。



「お年寄りに折り紙を教えてあげたいんです。」と織り続けている。羽織袴姿の人やアジサイにかたむむり。



そんな風景の世一緒にふらりと立ち寄った元スタッフの新井さん。就労A型に通い出してから3ヶ月。休みが月、火なのだという。

やはり元スタッフでいまはヘルパーをしている田辺君が、通所を終えたKさんの夕方の散歩に付き添って立ち寄り、Kさんがトイレを借りて、また二人で出てゆく。

ほんとうは、地域にたくさんできた通所、入所の福祉サービスの場すべてが、こんな風に入出入り可能になればいいのだ。



絵付け工房「世一緒」



ただいま「人形のひな源」の当主・山崎昭二さんの指導により、越谷土産「しらこぼと笛」の絵付け中。

すいごごカフェ 8月2日~9月20日 1時半のゲスト

<p>8月 2日(水) 大熊 昭男さん 人権啓発映像監督</p>	<p>人権を問い続けて 越谷生まれ。大学卒業後東映に入社、薬物乱用防止を描く映画で監督デビュー。部落差別、障害者、ハンセン病など多数の映像を発表。人権の今を語る。</p>
<p>9日(水) 関根 賢一さん 越谷市国際交流協会</p>	<p>みんなの国際化は 「外国人市民との単なる交流や共存ではなく、共に手を取り合って(信頼関係を結ぶ)地域社会を築いてゆく時代」—その言葉に託した想いとは。</p>
<p>23日(水) 日吉 孝子さん 当会運営委員</p>	<p>三つ子育てを卒業し 埼玉に来て世一緒の顔になる直前までの、三つ子の母として、妻としての暮らし、手賀沼せっけんを立ち上げた元夫のこと、都内での障害者運動をいま語る。</p>
<p>9月6日(水) 友堅 由紀恵さん 生活ホーム、わら細工運営委員 金曜日の世一緒当番</p>	<p>施設の中だけで育つ 初めてきょうだいと家族らしい生活を共にした時には、すでに両親は世を去っていた。友に誘われて出た街は無限の迷路だった。</p>
<p>13日(水) 宇都木 章さん 元特別支援学校教員 元ぷろっぷはあと あすなる施設長</p>	<p>手探りの進路指導 高校の保健体育の教員から養護学校(特別支援学校)高等部に異動し、障害者たちの自立生活や就労の道を手探りした当時を振り返る。</p>
<p>20日(水) 宮田 新一さん 草加 視覚障がい者虹の会 中島 泉さん NPO ひかりの森副理事長</p>	<p>目に不自由な人へ声かけを と活動する宮田新一さん(「草加 視覚障がい者虹の会」の取り組み)と「地域活動支援センターひかりの森」で「音声パソコン」の活用を進めている中島泉さん(NPOひかりの森副理事長)に思いを語っていただく。</p>

※8月16日はお盆休みのため、
8月30日は他の行事と重なったためにお休みします。



世一緒スタッフ日記

気持ちが不安

S・V

施設で半年間で7回以上施設長が変わり、主任達まで本社異動があった時はやめようと思うことが何度もある。研修生たちが増えて今までのスタッフの人数が減ったので、気持ち的に今の所で残っていいかどうか不安です。

私の仕事について

田澤 麻衣

私は今、草加市にある光生園ではたらいっています。上司の坂田さんは厳しいけど頼りになる方で、男性の上司の加藤さんは温厚で、私が早めに作業を終わらせた時は休憩を10分〜20分とってくれる方です。作業の方は、おぼんや皿を並べたり、人数分に合わせ



世一緒スタッフは離職後や未就労で、働くイメージが持てない人を含め、地域・職場への各々の参加の仕方を体験を通して探るため世一緒に関わっている人達です。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポーター実習)や仕事発見ミッション(事業所訪問)、グループワーク等を行っています。障害や病気のある人もない人もいます。

ておかずを調整したり、特定の方がいたら、食べられないものを取り除いたり、量を少なめにしたります。

ペーストにしたり、普通の刻みや極刻みにしたり、料理バサミで一口大やもう一口大にしたりするのがたいへんでした。出すときは汚れがついていたら布巾で拭き取ったり細かくてたいへんです。洗うときは、スポンジで洗ったり二度洗いしたり、最後は使った雑巾で回りを拭いたりするのがたいへんでした。以上が私の仕事の内容です

就職につきたい

嶋崎由梨

私は福祉の仕事を目標としています。ヘルパー二級が

クラウドナインへ

新井孝治

のだけどどこまでできるかが限られてしまい障害を持ってこの面どうを見ています。高齢者のおふるをやるとき男性のセクハラされてたいへんでした。だれががんばって仕事見つけるしかないです。障害の子どもの面どう見るの大好きです。いくみちゃんかトイレゆうどうしたりしました。電車に乗って真未ちゃんと一緒にイオン行ったり介助でがんばっています

私は四年間長い年でした。が当番で週一回働いていました。ありがとうございます。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会の一員でした

が順天堂越谷から埼玉病院のデイケアにかよいだして一年もたないうちにカウンセラーのスタッフさんに越谷瓦曾根に **cloud9** 株式会社クラウドナイン 昨年の三月一日見学に行きました。仕事内容はボールペンの組み立て作業やタオル折りやサンプルの封入作業で体験で二週間休まずやっています。四月一日が社員して入社がきまり、一日3時30分で仕事が終わる15分、日ぼう書いて終了。帰る時間は十四時三十分で終りで夕はんの買い物して家にかえると十五時頃で母親が脳こせきで右全部がうごかないので私が変わりにごはんおいたり料理もします。あじつけは母がやります。



NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

当会はみなさまの会費と寄付金等により支えられています。ご協力をお願いします。ありがとうございます。

〒344-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 世一緒内 (ハローワーク斜向かい)
048-964-1819 (fax 共) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp http://www.5b.biglobe.ne.jp/~yellow/

二〇一七年八月二日発行(毎月十二回 二と四と六と八の日) 通巻 第四五〇七号
一九九四年八月二十四日第三種郵便承認
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市元郷一・十・十三 頒価二〇〇円